

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/旧統一協会問題
- 3面 読者のページ/まんが/詩/俳句
- 4面 筋力アップ/メディア/どうする原発
- 5面 憲法講座/ホット
- 6面 薬の使用期限って?/もう一品/母の歴史
- 7面 新婦人の活動/主張/性の多様性



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

人の尊厳を傷つける ハラスメント

どうしたらなくせるの!?

通勤する女性たち(本文とは関係ありません)



あらゆるハラスメントとは

一回限りであれ繰り返されるものであれ、性差別に基づくものを含む、肉体的、精神的、性的あるいは経済的苦痛を与えることを目的とし、もしくはそのような結果を生み出す、受け入れがたい全般的な振る舞い、行為あるいは脅しをいい、ジェンダーにもとづく暴力及びハラスメントを含む。(ILO「労働の世界における暴力とハラスメントを禁止する条約」より)

さまざまあるハラスメント

パワーハラスメント
職場での優越的な関係を利用した言動で、業務上必要な範囲を超えて、労働者の就業環境が害されるもの。(労働施策総合推進法)
セクシュアルハラスメント
「性的な言動」により労働者の就業環境が害されるもの。「机の上にヌード雑誌を広げる」といった行為も、「環境型セクシュアルハラスメント」と呼ばれセクハラに該当。(男女雇用機会均等法)
マタニティーハラスメント
妊娠や出産したこと、妊娠・出産に関する制度・措置の利用に関する言動で、労働者の就業環境が害されるもの。(男女雇用機会均等法)
パタニティーハラスメント
育児休業、介護休業など、家族に関する制度・措置等の利用に関する言動により、労働者の就業環境が害されるもの。(育児・介護休業法)

<編集部作成>

「セクハラ」や「パワハラ」などのハラスメントに、一人で悩んでいませんか? そもそもハラスメントとはなにか? どうすれば、ハラスメントのない職場や組織、社会を実現できるのでしょうか? 太田伊早子弁護士と、大和田敢太・滋賀大学名誉教授(2面)に聞きました。



おたいたさこ 横浜法律事務所、慶應義塾大学大学院法務研究科2008年卒業、2009年弁護士登録、本紙2020年4月~2021年3月まで、『弁護士太田伊早子さんの憲法のはなし』連載。

太田伊早子 弁護士に聞く

学心意味

「性的な冗談や、からかい」など就活で4人に1人がセクハラを経験(厚労省)、「上司に妊娠を告げたら『責任感がない』と責められた」など、一向に減らない職場のハラスメント。働く人の健康を悪化させ、休職、退職に追い込まれるなど深刻な例も後をたちませ

今回は、フーハラス

「法的規制のあるもの(左表)とそうでないものがあります。ここでは特に分けることなくお話しします。ああ、あれってやっぱりおかしかっただ、おかしいことについて言ってもよかったです。」「本当は私、止めた方が良かったんだ」と気がついて、ハラスメントを組織や社会からなくしていくという決意をみんなの共通認識にできたかと思っています。

「メン」というテーマで、職場のハラスメントだけでなく、それを生み出す土壌、私たちの身近にある問題も考えていきたいと思えます。

なぜ許されないのか

ハラスメントはなぜ問題なのか。ハラスメントについての相談を受ける時、ハラスメントは、している側とされている側で受け止めが大分違うと感じます。している側はわりと軽い気持ちのこと

も多い。でも、された側はとても重く受けとめている。なぜ、こういう意識の乖離が生じるのか。それは、している側は意識していないかもしれませんが、力関係を利用していることが多いことにあります。自分に対して性的な発言をしたり、気軽に触ってくるのは、自分を下に見ているからだ

と、やられてはいる側は感じます。

こんなことは…

人間が人間を下に見ているわけですから、されている側の尊厳は傷ついています。

「ハラスメントをなくすためには?」ハラスメントは根絶されなければならぬ、もし起きてしまった場合には適切に対応することが重要ですが、実際にはどう行動すればよいのでしょうか。

二つの視点を重要視したいと思えます。一つ目は、自分が行為者にならないこと、二つ目は他人に対してのハラスメントを放置したり、軽視したりしないことです。

「結婚しているの?」子どもがいるの? など、会ったばかりの人にいきなり聞いたりしていませんか? それくらいは世間話的なもので堅苦しく考え過ぎだと感じておられる方もいるかもしれません。

でも、結婚しているかしていないか、子どもがいるかないかは、その人の性的指向や性自認であったり、子どもがほしくても授けられない等、本来とても繊細なことに、ものすごくがさつに踏み込んでいくかもしれないということに思いを至らせたいところです。

「たとえば、性的な意図があるうがあるまいが、他の人の体には触らない。体に触っている場面を見かけたらやめさせるという具合にです。」

容姿や見た目については、褒め言葉であれば言ってもよいと思っている方もいるかもしれませんが、でも、女性は、見た目で評価されることが多く、そのことが女性の生きづらさにつながっています。たとえ、褒め言葉であったとしても見た目を評価されていることに変わりはないのだということに注意が必要ですよ。

<2面へ>

